

多々良中生徒の皆さんに 伝えたいこと

(昨年度の校長講話より)

令和2. 5. 13

念ずれば、 花開く

熊本県出身の詩人

坂村 真民

念ずれば、花開く

苦しいとき 母がいつも口にしていた
このことばを
わたしもいつのころからか
となえるようになった
そうしてそのたび
わたしの花がふしぎと
ひとつひとつ ひらいていった

念ずれば、花開く

じっとお願いして
いれば、

夢が叶う

何事も一生懸命に
祈るように努力を
すれば、自ずから
道は開ける

夢が叶う

念 → 今 と 心

じ
る

今、目の前にあることを
心を込めて一生懸命やる

念ずれば、花開く

「今」を大切に生きていないと花は開かない

「今」をいい加減に生きると、
次の瞬間もいい加減なものとなり、
いい加減な生活しか送れない

念ずれば、花開く

今、自分にできることを確実にやる

学校再開後の

夢や目標の実現

面白

倒

薬師寺

和尚様

面 = 顔のこと

うつむいてばかりいると何事も
面倒になる

光が当たるように顔を上げて取
り組むことで面白くなる

念ずれば、花開く

今、自分にできることを
心を込めて確実にやる！



顔を上げて取り組むことで面白くなる



学校再開後の

夢や目標の実現